

乙丸

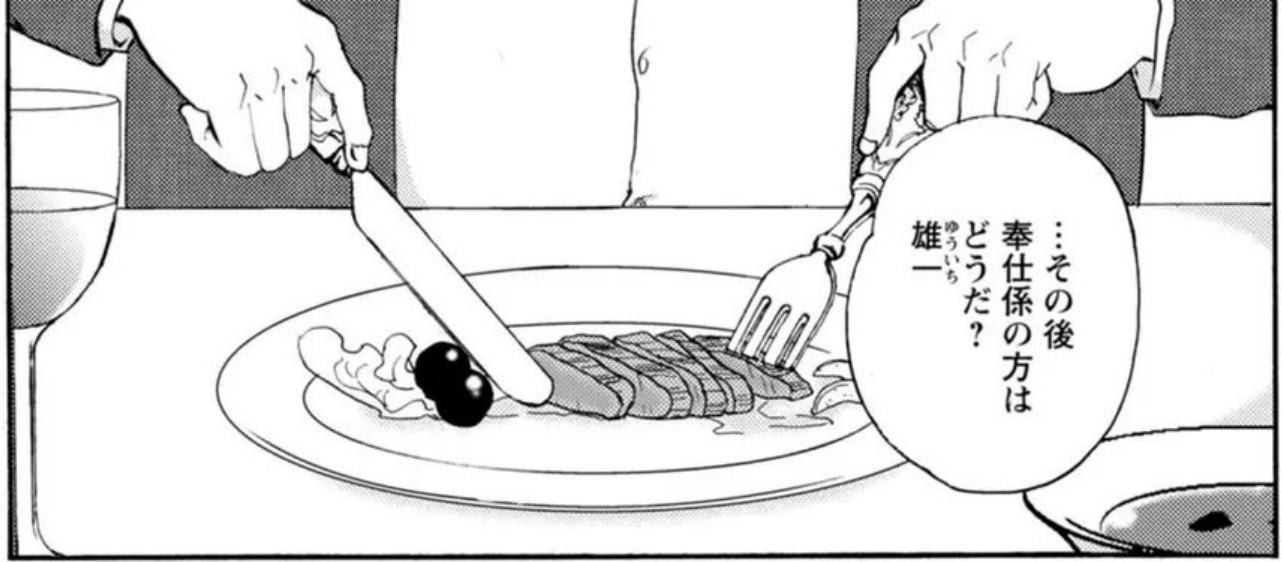
僕専属メイドが
言うことを聞かない

夜のご奉仕で主従逆転!?

2

僕専属メイドが言うことを聞かない ～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第2話







…そんなこと
言つて
本当は…



ふ…風呂にまで
ついて来なくて
いいと
いうのに…!!

ふう…

そうは
いきません

これも
奉仕係の
大事な務め
ですから



こうやって…
ボ…ボクの
反応を
楽しんでるん
うあッ
だろ



くそ…また
良いように
やられてる

ぞく

ぞくッ

これじゃ
すっかり
メアリーの
ペースじゃ
ないか



さ…横に
おなり
下さい

?



あら…
とんでも
ございません

くっ…

坊っちゃんまの体を
すみずみまで
キレイにする為
ですわ

にゅ
にゅ

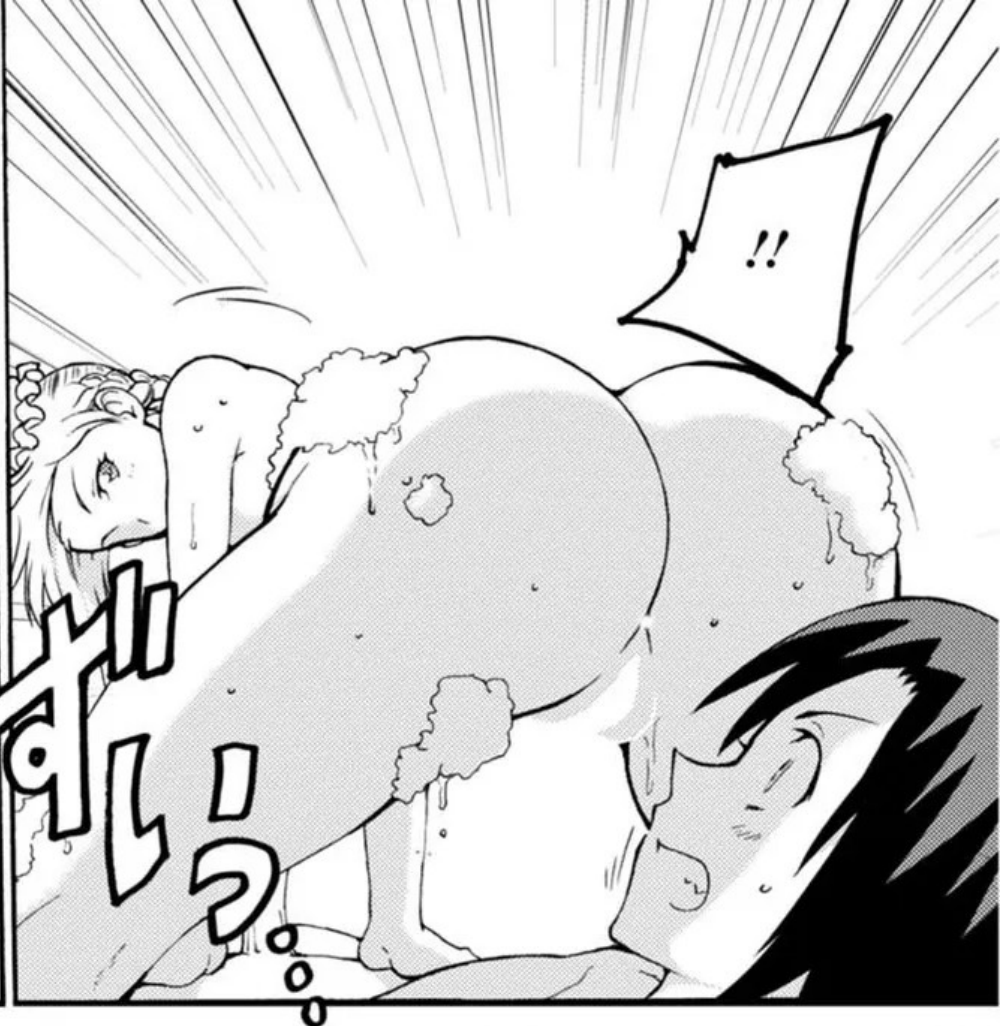
あ

にゅ
にゅ

うあッ



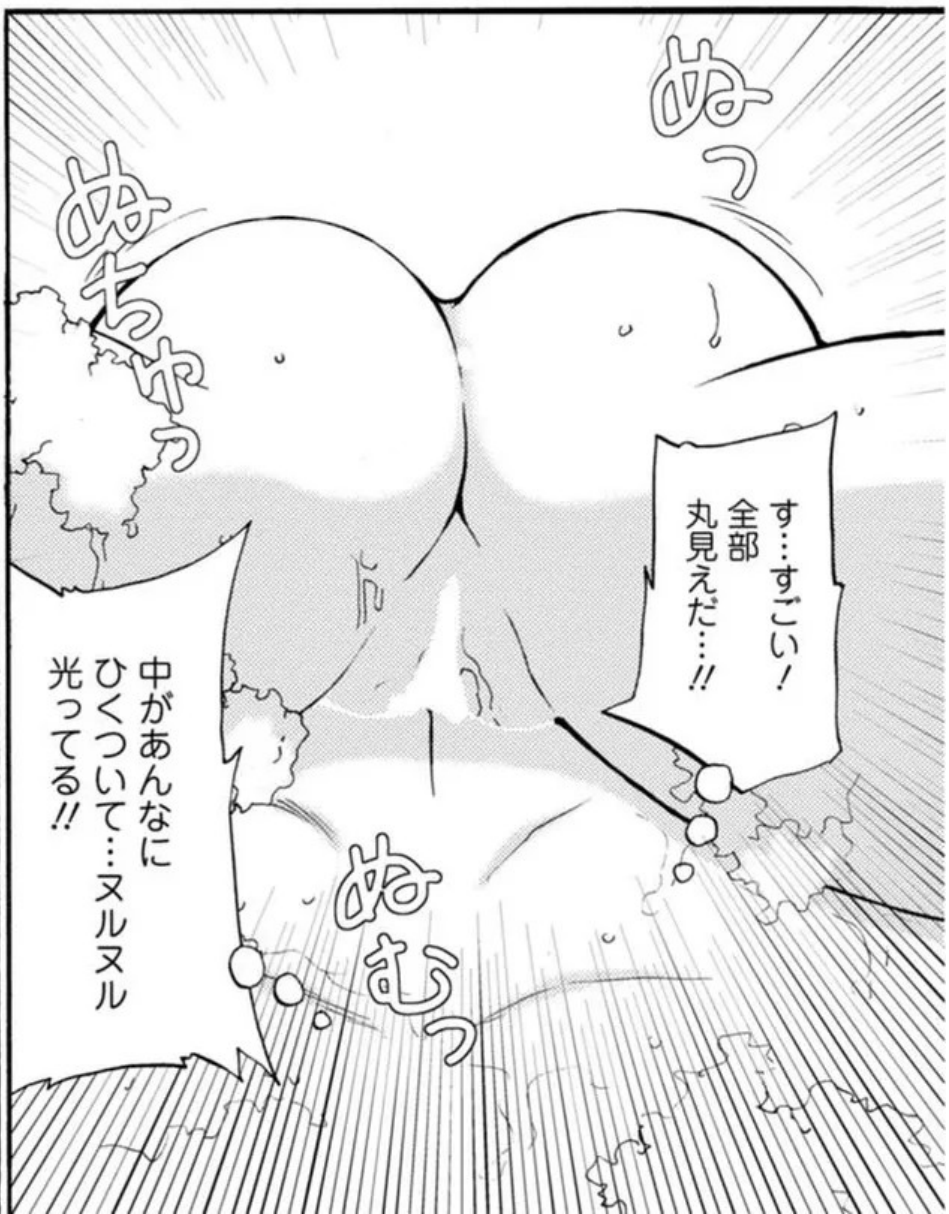
こ...こんな
間近にッ!!



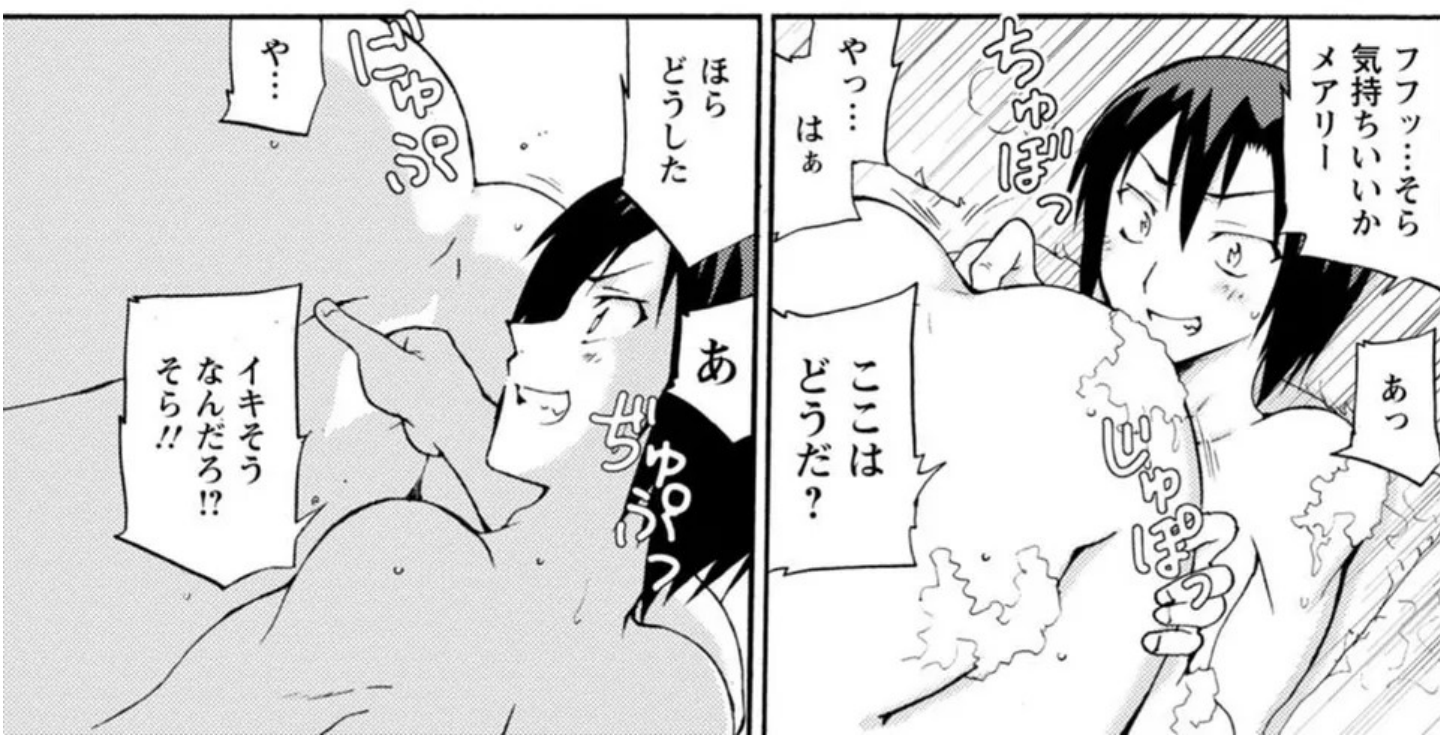
やられっ
放しだと
思うなよ!



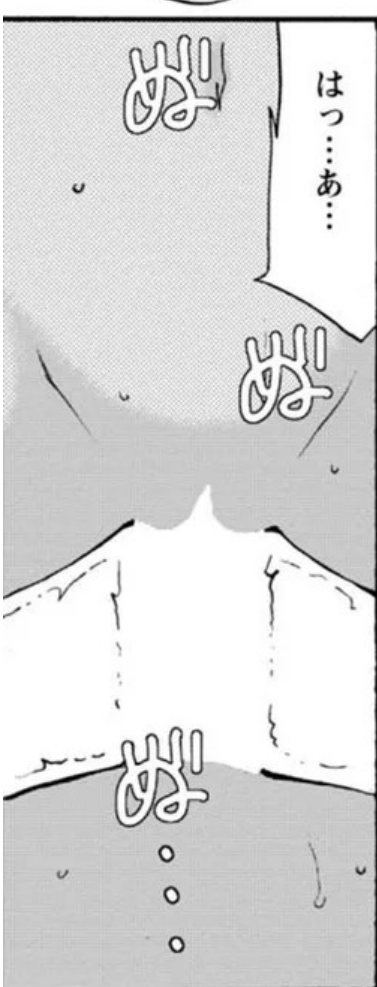
!



中があんなに
ひくついて...ヌルヌル
光ってる!!









そう…ゆつくり
小刻みに
動かして…

ンッ
お上手です…
坊っちゃま

あつ



はっ…

ぬっ
ちや

ふあつ…
うああつ!!



にゆるにゆるって…
からみついてくる
感じが…

やばいっ…
キモチ
ぬるぬる
…!!



はあッ

いい…です

もっと…
奥をかき回す
ように…



メ…
メアリー
もうッ…

いつでも…
坊っちゃまの
好きなときに…





あちらとの
会食は
先月以来か

そうですね

カッ



粗相の
ないようにな

はい…
大丈夫です

雄一様！



お元気
そうですね

雄一様も
お変わり
なく…



かおり
香織さん！

ご無沙汰
して
おります



彼女は
いしやういんかおり
四合院香織

大財閥
四合院家
一人娘で
僕の婚約者だ

名門大に通う
才媛で類稀なる
美貌の持ち主

絵に描いた
ような
深窓の令嬢だ

何より
素直で
純真なのが
いい!!

どこぞの
イヤミっただらしい
小生意気な女とは
大違いだ!!

誰のこと
ですか?

あら

2人が婚約して
もう一月か...

いえ...
それが
なかなか
スケジュールが
合いませんので...

もう...
お父様!!
雄一様は
お忙しい方
なのよ?

どこかに
出かけたか
したのかね?

そんな
無理をさせては
ご迷惑だわ

ハハハ
すまん
すまん

いえ...折角
ですし

今月
どこか
食事にでも
行きませんか

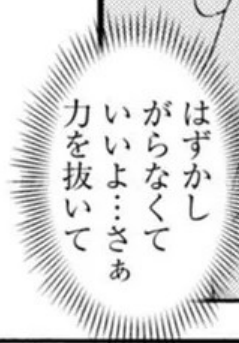
!
よろしい
のですか?

ええ...
お好きな
ところへ
お連れ
します

ぱ

うれしい!!
楽しみに
しています!!



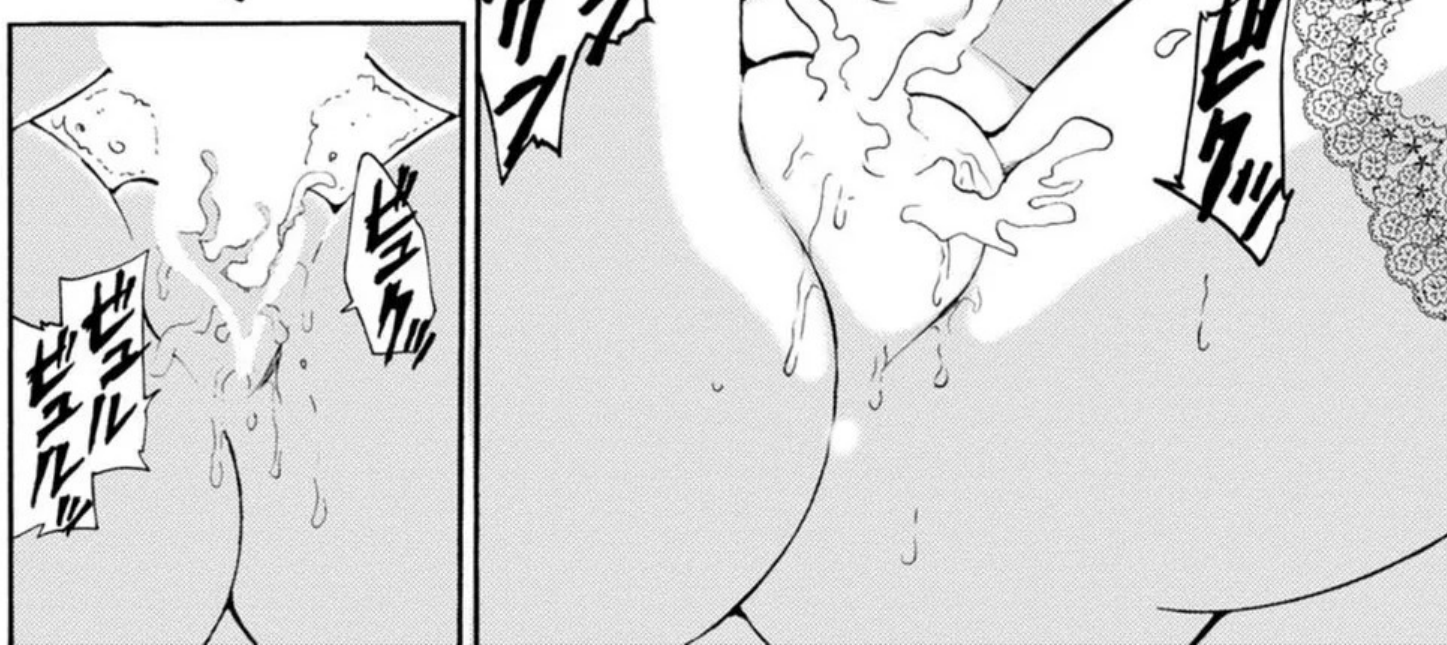




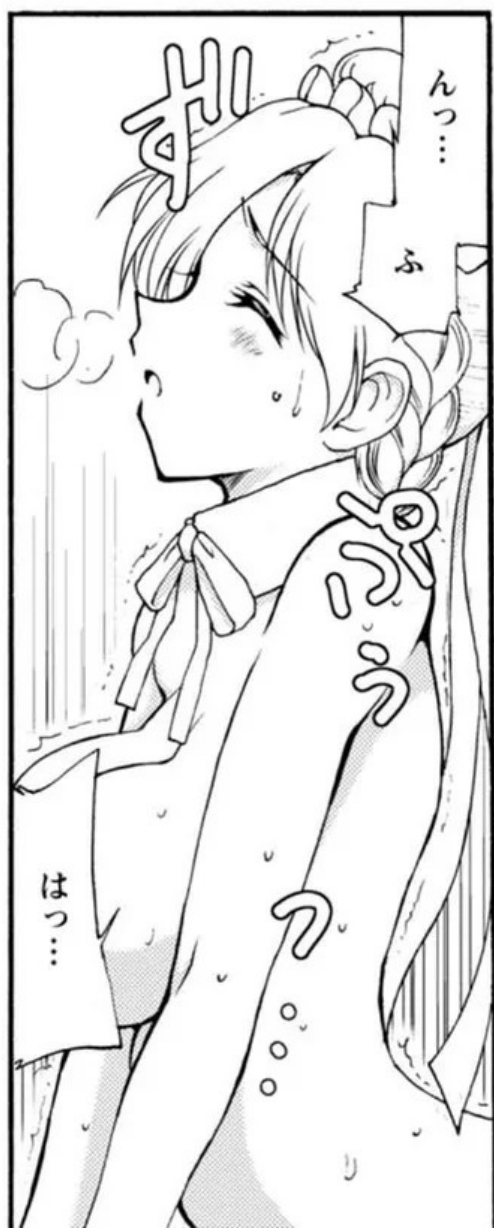
















to be continued

**僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転!?!～**

②

乙丸

© 乙丸／秋水社ORIGINAL